要求公表・予算案公表

事業番号	08　03　09

事業改善シート（25年度実施事業分）

■予算要求　□予算案　□点検

事業名	発生予察事業	
総合5か年計画	プロジェクト	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 ◆自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産

担当課		
	部局	農政部
	課・室	農業技術課
	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp
実施期間	H16　～	

1 事業の概要

目指す姿

農作物の生産確保と品質向上を図るため、病害虫の発生状況を的確に前もって推察（予察）し、予察情報に基づいた効率的かつ効果的な病害虫防除の推進を目指す。
特に、全県的に栽培がされている水稲については、「いもち病」や「斑点米カメムシ類」の防除が課題となっており、的確な予察情報等の提供と予察情報に基づいた防除により、まん延防止を目指す。
本県の農業生産上、課題となっている病害虫の防除に必要な農薬について、その効果等の試験を積極的に行い、農薬メーカーへ提供することで、登録の拡大を目指す。

現状

○近年、地球温暖化等の影響により、病害虫の発生時期や発生回数等が変化しており、従来の防除時期では適期防除ができない場合もあることから、予察情報に基づく防除が重要となっている。
○これまで確認されなかった新たな病害虫の確認や発生が少なかった病害虫が多発生する中、新たな農薬の登録に対する要望が増加している。

県が関与する理由

■法令等義務　□内部管理　■県でなければ実施不可

□民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有

□その他（　　　　　　　　）

【左記の説明、根拠法令等】

発生予察事業は、植物防疫法に基づき都道府県が実施することとされている。（植物防疫法）
農薬登録拡大をするためには、「農薬の登録申請に係る試験成績について」の運用に基づき、都道府県の農業試験場等公的な機関が行った試験成績の提出が必要である。（「農薬の登録申請に係る試験成績について」の運用通知）

成果目標・事業内容

① 成果目標（H25）

○水稲の「いもち病」による被害の発生割合：　18％（平成23年度の発生割合から、1.1%減）
○水稲の「斑点米カメムシ」による被害の発生割合：　5％（平成23年度の発生割合から、0.7%減）

② 事業内容　　（単位：千円）

項目	実施方法	H25実施内容	H24（当初）	H25（要求）	H25（予算案）
病害虫発生予察の推進	直接	病害虫発生予察ほ場等の設置及び調査（43ヶ所）	5,175	5,493	
植物防疫総合情報ネットワークへの加入	直接	日本植物防疫協会が提供する農薬登録情報等の検索システム（JPP－NET）への加入	378	378	
発生予察技術の確立及び実証	直接	病害虫の発生予察方法（手法）等の確立 イネいもち病の発生予測	280	232	
病害虫防除員の設置	直接	「病害虫防除所の設置及び病害虫防除員の設置区域に関する条例に基づき、市町村区域内で防除指導等を行う病害虫防除員（87名）の設置	410	405	
ミバエ等侵入警戒調査	直接	ﾁﾁｭｳｶｲﾐﾊﾞｴ、ｺﾄﾞﾘﾝｶﾞ、火傷病、すいか果実汚斑細菌病の侵入警戒調査（調査ヶ所数：62ヶ所）	253	253	
農薬登録拡大推進事業補助金 （(社)長野県植物防疫協会）	補助	本県が重点的に実施する農薬登録に係る試験の調整業務を行う県植物防疫協会に対し補助。	2,000	2,000	
		合計	8,496	8,761	0

事業コスト

区分（単位：千円）		22年度	23年度	24年度	25要求	25予算案
予算額	前年度繰越					
	当初予算	9,370	9,010	8,496	8,761	
	補正予算					
	合計（A）	9,370	9,010	8,496	8,761	0
Aの財源	国庫支出金	5,080	4,873	4,641	5,269	
	県債					
	その他（繰入金）					
	一般財源	4,290	4,137	3,855	3,492	0
決算額（B）		9,261	8,306			
概算人件費	職員数（人）	10.00	10.00	10.00	10.00	
	概算人件費（C）	83,170	82,580	82,580	82,580	0
概算事業費（B(A)+C）		92,431	90,886	91,076	91,341	0

成果目標の達成状況

項目	現況（H23）	H25 目標	H25 成果	H25 達成状況	H26目標
いもち病発生割合	19.1%	18%			
斑点米カメムシの発生割合	5.7%	5%			

要求からの主な変更点